

NEWS RELEASE

報道関係者各位

2015年2月23日 送信枚数4枚

【オリコン 洗顔に関する意識・実態調査】

洗顔に重要だと思うこと第1位は「泡」！

「泡立て方」や「泡の質と量」など、朝の「泡」洗顔を重要視する女性の意識が明らかに。

しかし、洗顔料の正しい泡立て方を「知らない」という女性が51.7%と過半数超え
泡の立て方に自信がないは実に58.5%に達する！

冬の冷たい空気と、室内の暖房器具による乾いた空気のダブルパンチで、この時期は、お肌もカラカラに乾燥しがち。肌が乾燥するとバリア機能も失われてしまいます。つまり、この時期は肌が無防備な状態になっていることが多いのです。そこに春から夏にかけてどんどん高まる紫外線が襲いかかると、肌に多大なダメージを受けてしまうことになりかねません。したがって、今の時期にしっかりスキンケアを行い、乾燥で失ったバリア機能を取り戻しておくことが大切になります。その際、もっとも基本となるのは洗顔です。実際、スキンケアの方法は人によって多種多様ですが、基本となる洗顔はほとんどの人が行います。

そこで、オリコンでは、世の女性が行っている“良い洗顔方法”の実態を調べるために、20~40代女性600名を対象に意識実態調査を行いました。

調査概要

- ◆調査名： 「洗顔に関する意識・実態調査」
- ◆調査期間： 2015年1月9日（金）～1月15日（木）
- ◆調査対象： 20~40代 女性 計600サンプル
- ◆調査方法： インターネット調査
- ◆調査企画： 株式会社 oricon ME
- ◆調査地域： 全国
- ◆調査機関： オリコン・モニターリサーチ

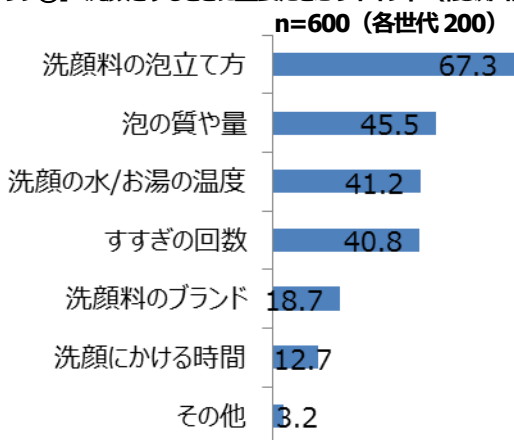
【調査結果と傾向】

1. 洗顔で重要なポイント1位は「洗顔料の泡立て方」と**67.3%**の女性が回答
2位も**45.5%**が回答した「泡の質と量」が入り、「泡」が1、2位独占
しかし、朝に洗顔料を使って洗顔していない人が**42.5%**！
2. 洗顔料の正しい泡の立て方を「知らない」という女性が**51.7%**と過半数超え
泡の立て方に自信がない人が**58.5%**に達する
3. “肌を大切にしている”女性は「洗顔料の正しい泡の立て方を知っている」が**60.8%**
4. 紫外線から肌を守るバリア機能を取り戻すために朝の“泡洗顔”が大切
(R サイエンスクリニック広尾・院長 日比野佐和子氏)
5. 正しい泡洗顔のポイントは「マシュマロのようなきめ細かい泡」
(美容コーディネーター 弓気田みずほ氏)

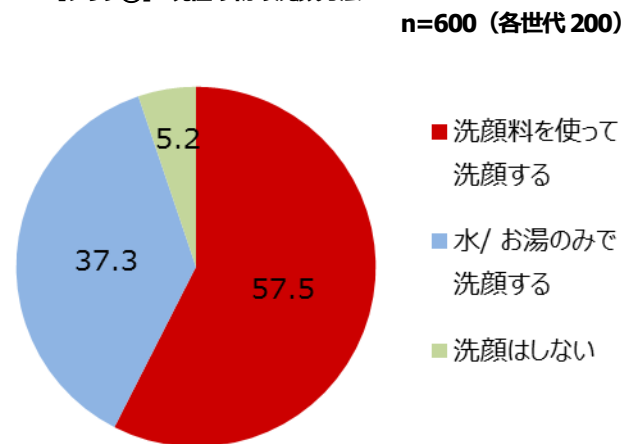
1. 洗顔で重要なポイント 1位は「洗顔料の泡立て方」と67.3%の女性が回答 2位も45.5%が回答した「泡の質と量」が入り、「泡」が1、2位独占 しかし、朝に洗顔料を使って洗顔していない人が42.5%！

まず洗顔をするときに重要だと思うポイントについて尋ねてみました。その結果、最も多かった答えが67.3%の女性があげた「洗顔料の泡立て方」で、次いで45.5%が答えた「泡の質や量」となっています【グラフ①】。1、2位を「泡」に関するポイントが占めており、洗顔料の泡で洗顔することを重要視している女性が多いことがわかりました。しかし、現在の朝の洗顔方法について「洗顔料を使って洗顔する」「水、お湯だけで洗顔する」「洗顔しない」のいずれかを尋ねたところ、「洗顔料を使って洗顔する」は57.5%に留まり、洗顔料を使わない女性が42.5%という数字になっています【グラフ②】。洗顔料の泡が重要と考えていながら、洗顔料を使用せずに洗顔を済ませている女性が多いようです。

【グラフ①】 洗顔をするときに重要だと思うポイント（複数回答）



【グラフ②】 現在の朝の洗顔方法

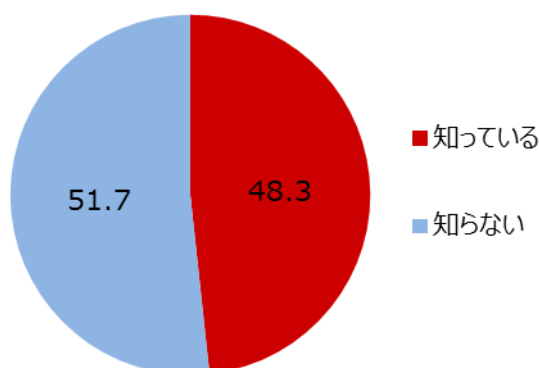


2. 洗顔料の正しい泡の立て方を「知らない」という女性が51.7%と過半数超え 泡の立て方に自信がない人が58.5%に達する

洗顔において最も重要と考えられている「洗顔料の泡の立て方」ですが、どの程度できているのでしょうか。そこで、洗顔料の正しい泡の立て方を知っているかを質問してみたところ、「知らない」と答えた人が51.7%と過半数を越えました【グラフ③】。正しい泡の立て方を知っていると考える人の方が少ないという結果に。そのためか、自分の泡の立て方への自信についても「あまりない」と「ない」の両方を併せると58.5%に達し、多くの人が泡の立て方に自信を持っていない現状が明らかになりました【グラフ④】。

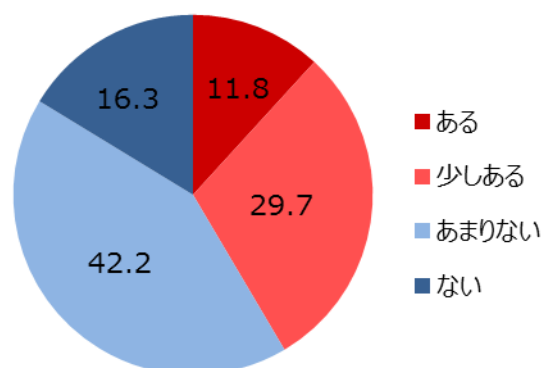
【グラフ③】 洗顔料の正しい泡立て方の認知

n=600 (各世代 200)



【グラフ④】 洗顔料の泡立て方への自信

n=600 (各世代 200)

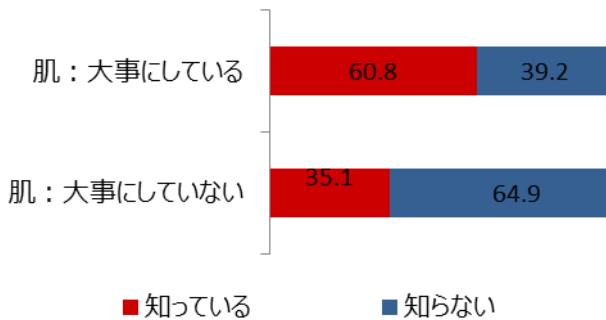


3. “肌を大切にしている”女性は「洗顔料の正しい泡の立て方を知っている」が60.8%

では、正しい洗顔方法を「知っている」と答えた人とそうでない人とはどこに差があるのでしょうか。今回の調査では、「自分の肌を大切にしているか」でグループ分けし、「思う」と答えた 51.5%（309 名）と「思わない」と答えた 48.5%（291 名）のそれぞれで結果を見てみました。それによると、正しい泡の立て方について、“自分の肌を大切にしていると思う”グループでは「知っている」との答えが 60.8%を占めています。一方、“自分の肌を大切にしていると思わない”グループでは、逆に「知らない」との答えが 64.9%を占めており、差が顕著に表れました【グラフ⑤】。泡立て方への自信についても、前者は「自信がある」人が 58.9%を占めたのに対し、後者は「自信がない」人が実に 77%を占めています【グラフ⑥】。

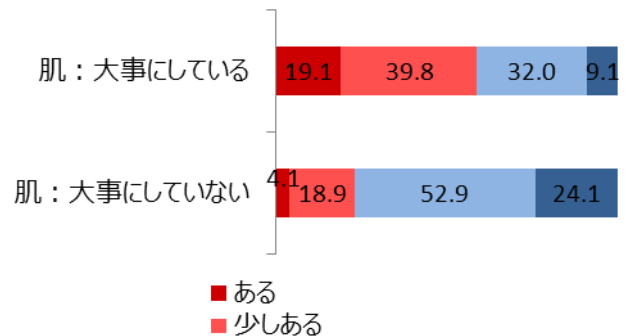
【グラフ⑤】 洗顔料の正しい泡立て方の認知

n=肌を大切にしている 309、肌を大切にしていない 291



【グラフ④】 洗顔料の泡立て方への自信

n=肌を大切にしている 309、肌を大切にしていない 291



多くの人が洗顔で大切と考えていながら、うまく扱えていない人も多い「泡」ですが、実際のところ、重要視するポイントとして正しいのを知りたいところです。そこで、皮膚科医の曰比野佐和子先生に伺いました。

4. 紫外線から肌を守るバリア機能を取り戻すために朝の“泡洗顔”が大切

「冬は乾燥が肌にとって良くないですが、春にかけて暖かくなると、血管が拡張し、花粉症の時期にもなるので、アレルギーの症状が悪化しやすくなります。そうすると、肌のバリア機能が低下し、外部からのいろいろな侵入物に対して普段以上に刺激を感じやすくなり、影響が強くなります。紫外線の影響でシミやしわになりやすくなります。

肌のバリア機能を取り戻すためには、肌を常にきれいにしておくことがすごく重要になってきます。きれいなすっぴん肌を保つには、朝洗顔は基本中の基本。皮膚の皮脂腺から分泌される皮脂は、寝ている間に酸化し、それを放置すると、紫外線でシミの原因になります。肌の老化にもつながります。きちんと洗顔料を使って洗うことが必要です。

また、肌が敏感になっているときは摩擦がよくないので、こすってはいけません。洗顔時は、泡が摩擦を軽減してくれますので、泡洗顔が大切だと思います。泡ですと、汚れを浮かせて落とせるので、肌への負担が少ないのと、顔をなでるように洗うことでマッサージ効果も期待できます」。

曰比野佐和子先生

Rサイエンスクリニック広尾・院長（医学博士）

内科、皮膚科、眼科医、アンチエイジングドクターとして診療を行うほか、欧米のアンチエイジング医学など研究分野においても国際的に活躍中。



大切な「泡洗顔」。しかし、その正しい方法がわからなくて自信を持ってない女性が多いという現実が今回の調査では明らかになっています。そこで、正しい「泡洗顔」の方法について美容コーディネーターの弓気田みずほ氏に教えてもらいました。

5. 正しい泡洗顔のポイントは「マシュマロのようなきめ細かい泡」

「洗顔で最も大切な“アイテム”は、“マシュマロのようなきめ細かい泡”です。手のひらを裏返した時にポタッと下に落ちないぐらい、弾力のある泡が理想的。手のひらと顔の間に泡のクッションがあるというイメージで洗ってください。きめ細かい泡が作れば、こすらなくても無理なく汚れを浮きあがらせることができます。泡で肌を優しく撫でるような感じで洗うことが重要です。

問題はどやってきめ細かい泡を作るかということですね。といっても、それほど難しいことはありません。まずは、泡立ちを良くするためにきれいに手を洗います。そして、手をお椀のように丸めます。もう片方の手で、お茶をたてる様に空気を含ませながら洗顔料を泡立てていきます。何度かに分けて水を足しながら、泡立てていくのがポイント。上手く泡立てられない人は、洗顔ネットを使えばより簡単です。最近では、泡で出てくるタイプの洗顔料もありますので、そういったタイプの洗顔料を選択するのも良いでしょう。

すすぎはうるおいを守るため、人肌のぬるま湯で。肌を触ってみてぬるつきがなくなるまで、すすぐようにしましょう。生え際やフェイスライン、眉間やあごの下、小鼻の脇などが、洗い残しやすいポイント。あまり肌をこすらないよう、水を掛けるような感じですすぎましょう」。

弓気田みずほ氏

美容コーディネーター。

大手化粧品メーカーや商業施設へのコンサルティング・人材育成・講演等を手がける。

美容誌や女性誌等のメディアでは、幅広い美容知識を生かした実践的な美容アドバイスをを行い、正しい化粧品選びの指南役として活動中。



【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 oricon ME 担当：中舘、竹島

TEL 03-6447-0570 / FAX 03-3470-0626 e-mail : cominfo@oricon.jp